

特別講演

主催 埼玉医科大学 骨軟部組織腫瘍科 整形外科,

後援 埼玉医科大学 医学教育センター 卒後教育委員会

平成22年2月22日 於 埼玉医科大学 国際医療センター C棟2階 会議室

包括的がんセンター教育カンファレンス

末原 義之

(順天堂大学 医学部 整形外科)

骨軟部腫瘍の治療成績は有効な化学療法及び分子標的治療の導入によって著明に改善されてきたが、化学療法の効果が不十分な症例、初診時転移例等の予後は依然極めて不良である。骨軟部腫瘍のさらなる治療成績向上のためには、これら治療抵抗性のメカニズムや生命予後を規定する因子の解明、オーダーメイド医療のための新たなバイオマーカーの開発や分子標的治療のための新たなターゲットとしての開発が必要である。

今回、現在までに我々の行ってきたプロテオーム解析(タンパク質発現解析)を用いた骨軟部腫瘍の新規バイオマーカーの探索について紹介する。また近年、新たに進歩し続けている骨軟部腫瘍手術治療、特に先進医療「液体窒素処理骨」による再建術についても紹介したい。

(文責 矢澤康男)